

令和2年度 一般社団法人 埼玉県校外教育協会委嘱  
校外教育研究紀要

研究主題

地域に根ざした豊かな体験活動による  
生き生きとした生徒の育成



さいたま市立原山中学校

〒336-0936 さいたま市緑区太田窪1-10-20  
TEL 048-882-3192  
FAX 048-811-1338  
E-mail harayama-j@saitama-city.ed.jp

# 1 はじめに

本校は、浦和駅東口徒歩15分の位置にあり、在籍生徒数719名、21学級（通常19特別支援2）の中規模校である。素直な生徒が多く、落ち着いた雰囲気教育活動が行われ、部活動にも熱心に取り組む。「抱け 輝け 拓け」を学校教育目標に掲げ、「夢や希望を持つ生徒、思いやりの気持ちを持つ生徒、自分のよさを伸ばす生徒、心身ともに健康な生徒、広い視野を持ち行動する生徒」の育成に取り組んでいる。

## 2 研究の概要

### （1）研究テーマ及びテーマ選定理由

テーマ：地域に根ざした豊かな体験活動による生き生きとした生徒の育成

選定理由：現在の生徒は地域の方と触れ合う機会が減少し、様々な人と良好な人間関係を築く力が身に付いていない。そこで、地域行事への積極的な参加機会を設けるなどして、生徒のコミュニケーション能力を育成したいと考え、本テーマを設定した。

### （2）研究計画

#### ○ 研究のねらい

地域行事への参加や地域の学校との交流を通して地域の方等と交流する機会を増やし、生徒の人間関係構築力の向上を図る

#### ○ 研究スケジュール

- 4 月 校内分掌担当者による計画の立案・職員への周知
- 5 月 「原山地区ごみゼロ運動」（地域清掃活動）への参加
- 6 月 「三世代ふれあい広場（道祖土小）」への参加  
教育活動後援会による事業中間報告、今後の活動の確認
- 7～8月 地域の祭への参加（前地夏祭り・本太夏祭り・原山夏祭り）
- 10 月 「原山小ふれあいまつり」「さいどっ子まつり」への参加
- 11 月 地域連携「共助避難訓練」の実施
- 12 月 「原山自治会親子餅つき大会」への参加  
「原山地区ごみゼロ運動」（地域清掃活動）への参加
- 1 月 校内での振り返り（学校評価）
- 2 月 教育活動後援会による事業報告、活動継続に向けたシステム作り
- 3 月 研究紀要の作成

#### ○ 期待される成果

- ・ 地域への参加が積極的になり、多様な人間関係を良好に築く力が付く。
- ・ 他の学校との交流により、他者を理解し、思いやる心が育まれる。

### 3 実際の取組

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4～5月の臨時休業、6月からの分散登校による学校の再開から始まり、地域行事は12月の「地域清掃活動」以外すべて中止となってしまった。そのため、以下の報告並びに写真資料は、昨年度のを掲載する。

#### 4月 ボランティア活動の計画と割り振り

職員会議において、ボランティア担当から年間の地域行事計画が示され、各学年会で各行事に参加する教職員を決め、協力できる部活動を割り振った。その他の一般生徒は、各行事ごとに募集ポスターを校内に掲示し、募集した。部活動単位の参加なので、部活動の練習のために参加できないということはなく、最低限必要な人数は確保できた。

原山地域の「一大イベント」です!! 暑って参加しましょう!!  
40～50人以上の参加を募集しています!!

実施日時 : 令和元年 8月4日(日)  
午前11時集合(10分前にはいるように)

集合場所 : 原山会館

用具・服装 : 水筒、タオル、上下体育着

申し込み : 7月 9日(火)までに各学年のボランティア担当の先生まで

※ 7月10日(水)放課後に各二会館にて人数確認を行うので集合してください

☆注意☆  
参加する日に郵券がある者は必ず郵便の要領を先方に状見取取るべし

ボランティア担当の先生		
1年	2年	3年
並木、	大塚、	末廣、
吉岡、	小堀、	豊田、

#### 7～8月 地域の祭(前地夏祭・本太夏祭・原山夏祭)

原山中学校区の自治会からの要請により、中学生ボランティアとして、祭りの運営の補助を担い、神輿の担ぎ手として参加した。

#### 10月 「原山小ふれあいまつり」「さいどっ子まつり」

小学校で行われる子どもまつりの補助員として、特に参加する小学生を相手に「中学生のお兄さん、お姉さん」的な関わりを持つことができ、地域行事における小・中連携を進めることができた。

#### 11月 共助避難訓練

避難訓練の際、代表生徒があらかじめお願いしていた近所の高齢者宅を訪問し、災害時の避難の仕方を確認し、全校生徒にその状況を発表した。中学生も災害時には、地域の方の救助にあたる自覚と責任感を育てる取組となった。



## 1 2月 「原山自治会親子餅つき大会」



中学校区の自治会からの要請により、昔ながらの臼と杵を使った餅つきの手伝いを行った。高齢化が進んでいることもあり、餅のつき手として中学生の参加は、たいへん喜ばれている。生徒も、地域の方々からの教えを受け、初めて餅つきをする体験ができ、地域行事の継承と地域の方々との交流が一層深まる行事となった。

## 5月・12月 「原山地区ごみゼロ運動」(地域清掃ボランティア)



年に2回、地域の方々と協力して、中学校区内の歩道、公園などを回り、「燃えるゴミ」と「燃えないゴミ」に分別して拾い集める取組である。地域内を移動しながら活動することを通して、美化活動に対する意欲の向上や地域への関心が高まることで、地域の方々とのふれ合いの大切さを知る体験になった。



## 4 研究の成果と課題

今年度さいたま市では、全小・中学校において、SDGsの取組を設定することとなり、本校では、その1つの取組として、今まで行われてきた地域交流の成果を「目標 11 住み続けられるまちづくりを」に関連付けていくこととした。

また、さいたま市では、令和4年度から全小・中学校において「コミュニティ・スクール」の完全実施を計画しており、本校では、来年度はその準備委員会を発足する予定である。これにより学校と地域住民、保護者等との信頼関係を深め、学校運営の改善と児童生徒の健全育成に一層取り組めるようになる。中学生も地域の問題により関心を持ち、地域行事にも積極的に関わることが求められる。本校の取組も地域理解を深め、地域社会に貢献し、地域の方々から見守られながら成長できるものとして、今後も継承していきたい。

課題としては、部活動単位での参加が中心なので、休日の部活動時間との調整が必要であり、現在要請されている地域行事を維持するためには計画的に進めていくことが必要である。

来年度は、コロナ禍が終息に向かい、再び生徒が生き生きと地域行事に積極的に取り組み、成果を得られることを期待したい。